

## 第37期第12回理事会議事録

日 時：2014年1月29日（水）13時30分～15時00分  
 会 場：ちよだプラットフォームスクウェア 001会議室（東京都千代田区）

出席理事：新野，藤谷，経田，近藤，佐藤（正），竹見，田中，平井，藤部，三上，余田，以上11名（理事現在数20名）

その他の出席者：高野，牧原，神田，関田，横山，北村（支部長－オブザーバ出席）田沢（事務局）

## 議 題

1. 第37期第11回理事会議事録の確認
2. 会員の新規加入等について  
 新入会員13，退会21を全会一致で承認。2014年1月27日現在，会員数3,611名で個人会員は3,354名。
3. 2013年度（公社）日本気象学会名誉会員の推薦について  
 標記の件について，名誉会員推薦委員会の推薦案を理事会として了解し，5月の総会に諮ることとなった。
4. 各委員会からの報告

庶務…

## 1) 転載許可

①申請者：仁科淳司

転載元：Fig.11: Kitoh, A., K. Yamazaki and T. Tokioka, 1988: Influence of soil moisture and surface albedo changes over the African tropical rain forest on summer climate investigated with the MRI-GCM-I. J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 66, 65-68.

- ・ 図：今月のひまわり画像—2005年12月，日本海側の大雪と寒気の吹き出しによる筋状雲。天気，Vol. 53, 138.
- ・ 図：今月のひまわり画像—2006年7月，梅雨前線上で発達した積乱雲。天気，Vol. 53, 722.
- ・ 第1図：今月のひまわり画像—2013年4月，日本付近で急速に発達した低気圧。天気，Vol. 60, 454.

転載先：『やさしい気候学』第3版，仁科淳司著，古今書院発行

②申請者：丸善プラネット株式会社

転載元：「J. Meteor. Soc. Japan」Vol. 44

(1966) と Vol. 87 (2009) より22点，「天気」Vol. 13 (1966) ～Vol.39 (1992) より5点，「SOLA」Vol. 1 (2005) ～Vol. 7 (2011) より3点

転載先：「Climate System Study」植田宏昭著，2013年3月筑波大学出版会刊行

## 2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：北方圏国際シンポジウム —オホーツク海と流水—

主催：紋別市

期日：2014年2月16日～19日

場所：紋別市民会館・紋別市文化会館

名義：後援

②名称：ゴールドシュミット会議2016

主催：日本地球化学会

期日：2016年6月26日～7月1日

場所：横浜国際平和会議場

名義：協賛

③名称：第19回計算工学講演会

主催：一般社団法人計算工学会

期日：2014年6月11日～13日

場所：広島国際会議場

名義：協賛

## 3) その他

1月14日：第38期役員選挙立候補受付締切り（定数17名に対して16名立候補）

1月24日：2014年会費再請求（466件）

4) 会員登録情報としての電子メールアドレスの登録状況の報告。

会計…2014年1月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol. 61 No. 1 (2014年1月号) の掲載記事と，Vol. 61 No. 2, 3 (2014年2, 3月号) の予定記事の報告。報告書「日本の気象学の現状と展望」の掲載を予定しているとの説明があった。

気象集誌…科学研究費助成事業における国際発信強化のための新たな方策として，特集号としてAOGSでの発表内容を集める企画を検討していることが報告された。

気象研究ノート…2013年3月18日付け『1993年以前に刊行した「気象研究ノート」に関する著作権の学会への委譲についてのお願い』にて期日とした12

月末日までに電子媒体化を望まないとし出た著作者はいなかったこと、また電子媒体化した「気象研究ノート」の公開作業に入ることの周知を行う予定であることが報告された。

SOLA…三上理事より、投稿論文の処理が順調に進んでいることが報告された。

- SOLA 論文賞の選定状況の報告。今回は精査に時間を要している状況が説明された。
- SOLA 論文の内容がインターネット検索サービスに載らない問題についての報告。この問題は会員からの指摘でわかった。委員会で調査した結果、原因はJ-STAGEにあることが判明したことの説明があった。理事長名の文書にて科学技術振興機構に改善を要請することとした。
- 論文剽窃検知ツール CrossCheck の活用可能性についての報告。

講演企画…2014年度春季大会の準備状況の報告。郵送申し込みは3件あり、またオンラインは2月5日に締め切る予定との説明があった。

- 2014年度秋季大会の準備状況の報告。10月21～23日の開催に向けて、講演申し込みの締切を7月1日、プログラム編成会議を7月下旬に開催というスケジュールで準備することが説明された。

企画調整…藤谷理事より、倫理規程案の検討状況が報告された。

学術…近藤理事より、航空機部会に関連した活動が報告された。大型研究計画以降、個々に中型計画で航空機科学を推進する動きについて説明があった。

教育と普及…気象予報士会のCPD（継続的な能力開発）制度の事業開始に向け、「気象予報士CPD協議会」の設立が近々予定されていることが報告された。

表彰…岸保賞候補者推薦委員会による2014年度候補者1件及び藤原賞候補者推薦委員会による2014年度候補者2件の推薦が了承された。今後、全理事の投票を経て受賞者を決定する。

- 岸保賞の副賞について、作成業者によるメダルの様式提案の説明があり、様式等を議論した。

人材育成・男女共同参画…研究者の関心を高めるための企画として、Web掲載による女性ロールモデルの紹介の準備を進めていることの報告。

- 労働契約法改正に伴う問題について、男女共同参画の視点に絞った提言の準備を進めていることが報告された。

平成26年2月26日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監事 岡本 幸三